

ご挨拶

生徒指導報告書の完成、上梓にあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

今年度を振り返りますと、昨年同様、日本社会のみならず教育界においても、新型コロナウイルス感染症対策のため、様々な影響を受けた1年でした。昨年度は、旧5管内すべてで夏季実技研修会が開催できず、今年度も松山管内を除く4管内では例年のような研修会を実施することができませんでした。それでも、各管内でなんとかできることはないかと工夫や研修をしていただき、このたびそれぞれの研修の成果をまとめた報告書が出来上がりました。各管内独自の取組ではございますが、逆にそれが視点を変えた報告となっており、目を通していただくと、日々の仕事の何かしらのヒントになるのではないかと考えております。改めて関係者の皆様にお礼申し上げます。

愛教研生徒指導委員会の60年間にわたる活動の歴史を振り返ってみますと、50年続きました冊子「愛媛の生徒指導」の時代、リーフレットでの全教員への配付、そして愛教研ホームページ上での報告へと変遷してまいりました。これら活動の基本には、それぞれの報告が少しでも各学校現場で参考になればとの一念で、編集委員ともども努めてまいりました。新しく生徒指導主事となられた若い世代の方々にも参考にしていただくと幸いです。

生徒指導委員会の報告だけをとりましても、前述のように大きく変化してきております。世情の移り変わりの波は大きく、教育の現場も大きな変革を求められています。生徒指導主事の役割も当然影響を受けて変化していきますし、これからは「変化し続ける」という方が正しいのかもしれませんが、しかし、いついかなる時代であろうとも大切に受け継いでいくべきものと、時代に応じて変えていかねばならないものがあることはしっかりと判断していくことが肝要です。

生徒指導主事は、生徒指導面だけではなく、学校全体を見渡して「不易と流行」を見極め、かつ目的と手段を間違わないように常に意識しておくことは、これからの時代において特に重要になってくるものと考えます。どうか、各学校における旗振り役としてよろしく申し上げます。

末尾になりましたが、先生方のご健康とご健勝をお祈り申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。